

熊本県立松橋支援学校

本校は、小学部17名、中学部7名、高等部16名の計40名の学校です。昨年度は一人あたり35.9冊の貸出があり、子どもたちは図書館をよく利用しています。子どもたちの「本を読みたい」という気持ちに応えるため、近隣の学校や市立図書館と相互貸借を行ったり、熊本県立図書館の配本協力を利用したりしています。

また、一昨年度までは外部のボランティア団体に協力をいただき、子どもたちへのおはなし会を実施していました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からあまり実施できませんでした。今年度は感染対策を講じた上で、小学部へのおはなし会を再開しています。今後、中学部、高等部へのおはなし会も検討中です。今回、読書教育重点校としていただいた図書カードは、子どもたちが好きな食べ物の絵本、おはなし会で利用できる絵本として『からすのパンやさん』シリーズ、『どんぐりむら』シリーズ、『くれよんのくろくん』シリーズなどを購入しました。



おはなし会の実践

高等部の国語の授業の一環として、7月と11月に1回ずつ高等部3年生が小学部低学年生へおはなし会を実施しました。子どもたちに喜んでもらえるように本選びから練習まで、一生懸命頑張りました。当日は、緊張しながらもやさしい心と落ち着いた口調でおはなしすることができ、子どもたちも聞き入っていました。1回目を終え「盛り上げることができたので、今度はもう少し長い話を読みたい。」「静かに聞いてもらえたので、次回は話し方にもっと抑揚をつけたい。」と、それぞれに反省をし、次への意欲を語ってくれました。2回目は「季節に関する本を選びました。喜んでくれたようで、良かったです。」「登場人物の気持ちになって読みました。小学部の反応がうれしかったです。」と成功体験を味わうことができました。

